

科学技術の基盤である 材料関連分野の発展

公益財団法人 泉科学技術振興財団は、高度機能性材料およびこれに関連する科学技術分野における研究助成およびこの分野の裾野を広げるための研究助成等を行うことを目的にしております

事業内容

本財団は、目的遂行のため次の事業を行います。

1. 高度機能性材料及びこれに関連する科学技術分野における研究に対する助成
2. 高度機能性材料及びこれに関連する科学技術分野の飛躍的な発展を目指す人材の育成のための助成
3. 高度機能性材料及びこれに関連する科学技術の普及啓発
4. その他この法人の目的を達成するための必要な事業

財団の歩み

- 1988年 12月 財団法人泉科学技術振興財団設立
化学品メーカーである白水化学工業株式会社（現在 ハクスイテック株式会社）の創始者である故泉正雄氏が、白水化学工業株式会社創立40周年の記念事業として設立
- 2009年 11月 創立20周年記念シンポジウム開催
- 2011年 4月 内閣府より認可を得て
公益財団法人 泉科学技術振興財団となる
- 2025年 現在 設立以降967件の研究助成を実施

公益財団法人 泉科学技術振興財団

理事長 泉 豊禄

IZUMI
SCIENCE
AND TECHNOLOGY
FOUNDATION

公益財団法人 泉科学技術振興財団

設立 昭和63年12月15日
住所 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-9-7
電話 06-6373-1811
URL <https://izumi-zaidan.jp>



未来の「価値」を紡ぎ出す。
次世代を切り拓く、
研究者の「一歩」を支える。



公益財団法人 泉科学技術振興財団

助成対象研究分野

高度機能性材料

研究助成のご案内

助成の指針 | 独創と先見への投資

当財団の研究助成は、科学技術の基盤をなす「高度機能性材料」およびこれに関連する諸分野において、真に独創的な発想に基づいた基礎的研究を支援することを目的としています。既存の概念に捉われない挑戦的な研究や、将来的に社会へ大きな変革をもたらす可能性を秘めた先見的な探求に対し、その萌芽を育むための資金を供与いたします。

助成対象研究

高度機能性材料及びこれに関連する科学技術の基礎研究分野における、真に独自の発想に基づいた新しい研究。

応募者の資格

大学またはそれに準ずる公私研究機関に所属し、当該専門分野の研究歴が5年以上、または博士の学位を有する。

募集期間

4月1日～6月15日 ※年度によって変動する場合がございます。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

助成件数

年間45件程度

助成の額

1件 最大120万円

選考の基準

- (1) 研究内容の独創性・発想の独自性・新規性及び実施計画の妥当性に重きを置きます。
- (2) 研究目的・助成規模に適合し、当研究助成が有効に利用される研究であるかについても重視します。

選考プロセス

4月1日～6月15日

公募・申請

7月～8月

選考

9月

理事会での承認

10月以降

助成金交付

研究集会助成のご案内

(研究集会スタートアップ及びその飛躍への助成)

助成の指針 | 知の交錯が、新たな地平を拓く

優れた研究成果の創出には、研究者同士の真摯な議論と、自由闊達な知の交流が欠かせません。当財団では、高度機能性材料および関連科学技術分野における研究集会の開催を支援することで、学術ネットワークの構築と、次世代を担う若手研究者の育成に寄与することを目指しています。

助成対象

高度機能性材料に関して新分野開拓を志向する萌芽的な研究会・セミナーを結成しようとする研究者グループの代表者、及び既結成の同様の研究会・セミナーの飛躍的な発展を主導する研究者グループの代表者に対する助成。いずれの場合も、若手研究者が中心的役割を担うものを対象とする。

応募者の資格

- (1) 大学またはそれに準ずる公私研究機関に所属し、当該専門分野の研究歴が5年以上、または博士の学位を有する。
- (2) 研究会・セミナーの開催責任者または運営責任者。
- (3) 申込年の11月以降に開催される研究会・セミナーが対象です。

募集期間

4月1日～6月15日 ※年度によって変動する場合がございます。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

助成件数

新規助成 年間5件以内

助成の額

1件 50万円以内/年

選考の基準

- (1) 当該分野の学術研究の振興上重要である。
- (2) 研究会・セミナーの規模、内容が適切である。

注：継続的に開催されている既存の国内外の研究集会（その一部として開催されるセミナーを含む）は対象とはなりません。

年度ごとに募集要項は変わります。
詳しくはWEBサイトをご覧ください。
<https://izumi-zaidan.jp>



数字で見る本財団の助成

助成研究分類

分野別の割合 (採択者)

高度機能性材料



※2023年度～2025年度のデータを使用。
※社会基盤素材とは、社会基盤産業（建設、運輸、エネルギー、通信、情報、環境など）に広く用いられる材料（金属、セラミックス、ガラス、プラスチックなど）

過去5年間の助成実績数

(2021年度～2025年度)

採択された割合



申請助成の件数実績

年度	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
申請件数	98	90	98	107	112
採択件数	40	44	55	49	47

採択者の年代比率



申込者 男女比



※2021年度～2025年度データを使用。